THE KŌHŌ NANKOKU
広報ナンコク
昭和37年4月15日　第30号　(1)
編集発行　南国市広報委員会　高知県南国市東崎1335 電 451　安岡印刷所

南国市の概要

昭和34年10月1日発足
面積　126.13平方粁
人口　男21.189人 女22.563人 43.752人
世帯数　10.762戸

人生訓

できるか……
……できぬか
わからぬときは……
……できると思つて
努力せよ……

36年度追加予算 五億円を突破
本年度当初予算など議決

第十九回定例市議会は、三月十二日に招集され、会期を二十四日（通算六日の本会議）までと決め、審議をすすめたが、質疑や議案多数のため四日間延長され、二十八日に閉会した。

本議会に提案された主な議案は、火災予防条例、農業近代化資金利子補給条例、市営住宅使用料条例などの条例設定と、市税賦課徴収条例などの一部改正条例や、三十七年度の各会計の当初予算案や、三十六年度追加更正予算案など　議案三十九件と、養蚕教育施設整備事業起債専決処分の報告議案一件を審議、三十五年度のオ入オ出決算の認定に関する三議案を継続審議としたほかは、原案通り可決された。

なお、三十六年度の一般会計は、八百二十一万二百三十八円追加され、その総額は五億円を突破し五億七百九十三万千百六十六円となつた。

また、三十七年度の上水道特別会計当初予算額は七百四万四千百八十円（前年度より百三万一千四百八十円増）、国民健康保険特別会計は、五千五百八十七万一千円（同六百七万一千円増）、一般会計の当初予算額は、四億三千九百十一万三千百三十一円で、前年度当初予算と比べ四千九百六十一万三千百三十一円の増となつている。

また、穴内川ダム対策費は一般会計に計上され特別会計からはずされた。

一般会計の予算内訳は別表の通りである。

筍加工始る　＝上倉で＝

観光パンフレットでお知恵拝借

市発足以来、県内外の観光団体やその他の各方面から、市の観光パンフレットなどの要望をたびたび受けているものの現在市には観光パンフレットはなく要望に応じ得ない状態であり、これが対策に腐心していたが、このほど産業経済課において作成することとなり、その準備をすすめている。

これが製作にあたつて、内容の充実した、誰からも愛されるパンフレットとするため、次のことについて広く市民の意見や、希望を寄せられることをのぞんでいる。

掲載の内容＝説明文や順序、配置など　掲載したい観光地、観光物＝例えば、長尾鶏、岡豊城跡、禅寺など、その他＝写真、参考となる意見。なお、発行するパンフレットは、二十頁の小冊子の予定。

団長に久米静彦（久礼田）
連合青年団

市連合青年団はこのほど大篠公民館で総会を開き、三十六年度の決算など報告三十七年度役員を選任した。

その後中央委員会を開き女子団員の確保と活動を活発にし、全青年の要求を組織化するなどの運動方針や各部の常任委員を決めた。

（団長）久米静彦（久礼田新）（副団長）島内征（日章、新）、藤原恵子（久礼田、新）（会計）神田博（三和、西）、（書記）浜田勉（三和）、（監事）野崎正清（後免）、中村俊一（三和）、土居節代（大篠、各新）。

議員の報酬を引上げ
一万五千円に

議会議員等の報酬及び費用弁償支給条例は、定例市議会において改正され、議員などの報酬が改正された。

その主なものは次の通り。

議長－月額二万円、副議長－同一万七千円、議員－同一万五千円

農業、教育、選管の各委員会の委員長は、出務日当制で日額七百円、委員六百円となつた。

なを、教育委員の報酬を月額にする意向であつたが、議会の承認を得られなかつた。

スポーツ審議会を設置

市の教育委員会では、スポーツ振興法に基くスポーツ審議会の設置を計画、定例議会で承認を受け現在委員を物色中

このスポーツ審議会は、スポーツの施設、設備などの整備、指導者の養成、スポーツ事業の実施、奨励、技術の向上などについて、教育委員会や市長の諮問に応ずるほか、建議するもので、健全なスポーツを強力に推進しようというもの。

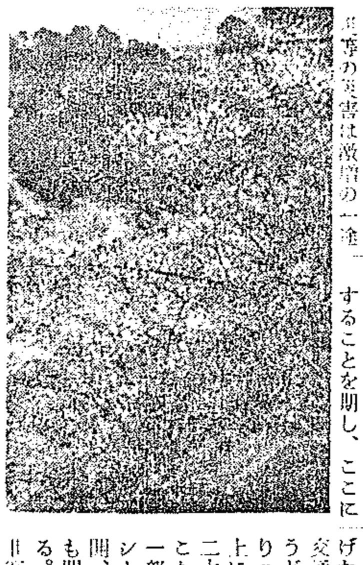
とくに総合グラウンドの建設が問題化されてくるだろう。

安全都市宣言
三月議会で議決

交通事故や産業災害、火災など激増する災害から市民を守るための"安全都市宣言"は、三月定例議会に提案され議決された。近く具体策を決めて、実施する。

宣言文次のとおり。

産業経済の発展と都市交通の著しい混雑に伴い、産業災害、交通事故、火災等の災害は激増の一途をたどり住民の生命、財産に多大の被害を与えている現況は、まことに憂慮にたえないものがある。南国市は人命尊重と産業文化発展の理念のもとに各種災害の撲滅と市民生活の安全を確保するため各界うつて一丸とする強力な市民運動を推進することを期し、ここに安全都市とすることを宣言する。



みごとな白木谷梅林

上倉地区白木谷の県道から徒歩で約五分のところに梅林があり、梅の品所に仕上げたら―という声がある。ちょうど土電バスの"一道木通り"停留所があつて便利な上にも便利。

二十年生以上の古木が谷そこから山道にかけて多く、一部は雑木林の中にもありシーズンになると一度に満開、ウグイスののどかな声も聞かれ別天地のよさがある。

＝写真は一道木梅林の一部

37年度 一般会計当初予算額

歳入

款	予算額	百分率
1.市税	118,438,000	27.0
2.地方交付税	106,600,000	24.3
3.分担金及負担金	8,228,180	1.9
4.使用料及手数料	3,391,596	0.8
5.国庫支出金	99,564,204	22.6
6.県支出金	8,324,331	1.9
7.寄附金	1,169,000	0.3
8.繰入金	6,000,000	1.4
9.雑収入	82,294,820	18.7
10.公営企業及財産収入	5,103,000	1.1
合計	439,113,131	100.0

歳出

款	予算額	百分率
1.議会費	11,106,056	2.5
2.市役所費	60,243,078	13.7
3.消防費	5,259,524	1.2
4.土木費	28,625,126	6.5
5.教育費	42,822,708	9.8
6.社会及労働施設費	132,548,420	30.2
7.保健衛生費	6,254,634	1.4
8.産業経済費	11,532,429	2.6
9.財産費	9,696,476	2.2
10.統計調査費	43,210	0
11.選挙費	2,861,940	0.7
12.公債費	20,051,779	4.6
13.諸支出金	107,573,348	24.5
14.予備費	494,403	0.1
合計	439,113,131	100.0

人事異動を発令
四月一日付で

市では、四月一日付けをもつてこのほど人事異動を発令した。こんどの異動は、農業構造改善事業を強力に推進するため、産業経済課などを拡充、人事の刷新を計つたもので、総数五十一名の職員が異動した。

（課長）

市民課長　上居彦馬（福祉事務所長）市民課付　中沢健（市民課国保係長）産業経済課長　国沢守道（福祉事務所次長）福祉事務所長　村山忠夫（産業経済課長）教育委員会出向　門田真一（市民課長）

（係長）

総務課＝消防係長　橋村重春（市民課厚生係長）

税務課＝第一賦課係長　西川武夫（同課第一係長）第二賦課係長　山本奈一郎（同課第二係長）徴収係長　井上新一（同課主事）評価係長　田岡高行（総務課主事）

市民課＝厚生係長　高木利弥（福祉事務所社会係長）国民健康保険係長　太郎田勝（福祉事務所保護係長）衛生係長　西川利男（三和支所長）

産業経済課＝農業構造改善係長　土居正松（選管事務局次長）商工水産係長　北村泰博（同課農政係長）

建設課＝庶務係長　山下泉（総務課用度係長）水道係長　久家豊一（税務課主事）

福祉事務所＝庶務係長兼次長　林部薬（税務課主事）保護係長　野村速雄（市民課衛生係長）社会係長　山島豊憲（総務課主事）

岡豊支所長＝岩原鼎来（産経商工水産係長）

三和支所長＝井上克幸（建設課庶務係長）

（主事）

総務課＝北岡克幸（市民）、上村静子（農委）、尾木亮温（福祉）

税務課＝久保義章（福祉）、浜口正義（総務）、高橋弘喜（同）、岡林奈弘（領石支所）、坂本信雄（建設）、大崎憲彦（市民）

市民課＝楠瀬良子（総務）、野口国夫（岡豊支所）、徳橋喜世久（領石支所）、奥宮弘子（産経）岡田亀樹（福祉）

産業経済課＝関田穀（建設）上村朝英（同）、福井清香（出納室）、西山紀美子（総務）、中田正弘（市民）

建設課＝北村幸栄（産経）井上一紀（同）、

出納室＝池本世井（総務）

福祉事務所＝西川哲（市民）、中西忠夫（税務）、森本寿子（教委）、

教育委員会事務局へ、安松淳子（税務課）、農業委員会事務局へ、山本香代（税務課）、選挙管理委員会へ池本整潮（市民課）

（教育委員会事務局）

学校教育課長（市民課長）門田真一

久礼田の三支会

悪童のむかし話を酒の肴に話し合い、互の消息を知りあつていこうという老人の集りがある。

日露戦争当時の明治三十八年、久礼田小学校を出た人達で、干支の三つ違いであるところから、「三支会」と名付けているのは面白い。

この会は昭和二十九年の春に発足して、今年で九年目を数えている。

四月一日会員十七人（最高七十才）が植田公民館にあつまり九回目の会合を開らき、腕白時代の思い出話や自慢話に花を咲かすなど、たのしい一日をおくつた。

海外移住だより

派米農業労務者を募集

県では、例年行なつている派米農業労務者を、今年も募集している。これは農業に従事する健全な青年を対象としているもので、応募資格の条件、労務内容、手続など申込についての詳細については、市の産業経済課に、問合せるとよい。

なお、募集の締切日は、五月十二日（県必着）で、渡米の予定時期は九月～十月となつている。